



# ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 291  
June  
2017

## トピックス

### お知らせ

中華人民共和国民政部・顧朝曦副部長一行の神戸市コミュニティ防災視察

### 国際会議への参加

UNESCAP/WMO台風委員会  
防災作業部会  
第12回年次会合

## Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073  
神戸市中央区脇浜海岸通  
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540  
Fax: 078-262-5546  
editor@adrc.asia  
http://www.adrc.asia

© ADRC 2017

### ●お知らせ

## 中華人民共和国民政部・顧朝曦副部長一行の神戸市コミュニティ防災視察

アジア防災センター（ADRC）は、5月30日、中華人民共和国民政部・顧朝曦副部長を団長とする防災視察団を迎え、兵庫における地域防災の取組を紹介しました。

日本のコミュニティ防災の重要な取組みの一つである神戸市の防災福祉コミュニティを紹介するにあたって、橘ふれあいのまちづくり協議会及び神戸中央消防署との意見交換会を企画・実施したほか、阪神・淡路大震災の経験について、「人と防災未来センター」を視察いただきました。

当該視察団一行は、5月22日～26日、メキシコ・カンクンで開催された「防災グローバル・プラットフォーム会合」に出席、帰国の途に際して、日本のコミュニティ防災の取組みについて、「地域住民が取り組む防災、それを支える地方行政」に関して、地域の関係者と意見交換を行いたいとの意向により、当センターが、一連の視察を企画したものです。

防災福祉コミュニティは、神戸市が阪神・淡路大震災の教訓をもとに取り組んでいる地域住民の自主防災組織の通称ですが、その大きな特徴は小学校校区を単位として、地域防災活動に取り組むという点です。

日本の多くの自治体では、自治会や婦人会等を単位とする事例が多いですが、そうした取組みに比べ、基本となる小学校のPTA、区内の婦人会や老人会、社会福祉協議会、商工会等も活動に関与することにより子どもから大人まで幅広い参加者を募ることができます。また発災時の避難所に指定されている小学校校区が取組みの単位であるため、当該地域の避難訓練を円滑に実施できるばかりでなく、近隣地域からの避難者の受入れなども想定した柔軟な防災活動に取り組むことができます。

顧朝曦副部長一行は、こうした説明に傾きながらも、婦人会や老人会などが実施する独居老人の見守りなどの個別の取組みが地域防災に果たす役割について質問するなど、活発な質疑応答がなされました。意見交換の最後に顧朝曦副部長から「どの国も発展の事情は違っても災害に対しては同じである。中国政府の動員力は強力であるが、地域社会の各組織が自主的に活動する力はまだまだ不足している。どのように地域住民の力を引き出していくかなど今回の視察は大変参考になりました」との講評をいただきました。

人と防災未来センターでは、中国語



集合写真



人と防災未来センター視察

## 続き

のボランティア通訳の案内で視察されましたが、顧朝曦副部長は、神戸港の復興に海外貨物取扱量の維持が大きな役割を果たしたことを認識されておられたことが印象的でした。

当センターでは、今後も、アジア諸国をはじめ世界に、阪神・淡路大震災からの復興の経験、神戸における地域防災の取組を共有し、将来世代のために、よりよい防災の取組を実現していくため、意見交換してまいります。

## ●国際会議への参加

### **UNESCAP/WMO台風委員会防災作業部会第12回年次会合**

ADRCは2017年5月30日から31日にわたり韓国、蔚山で開催されたUNESCAP/WMO台風委員会防災作業部会に参加しました。「仙台枠組後の防災作業部会の戦略的計画」と題された本会議は、は国連アジア太平洋経済社会委員会（UNESCAP）/世界気象機関（WMO）台風委員会（TC）と韓国国家防災研究所（NDMI）により開催されたもので、今回で12回目の会合になります。今回の会合は、台風をテーマとした防災教育、訓練が本会議のテーマとされ、ADRCを含むメンバー国、関係機関の参加者約30人が、各自の啓発、教育活動に関する報告を行いました。またWMO、NDMIからは防災情報システムの現状について発表されました。

本会議に続き6月1日、2日はTCの今後の運営に関する運営委員会が開催されました。

## 問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は  
editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。